

ないものが多い余白でつくる

面白い田舎づくり

陸前高田市地域おこし協力隊 田中大樹

- 1986年 34歳 寅年

- 長崎県佐世保市生まれ

- 人生の半分近くは地元以外で暮らす

短大（福岡）、幼稚園教諭・保育士（福岡・奈良）

派遣のバイト・太陽光パネルの設置（長崎）

全国旅（車）、災害支援（熊本・岩手・福岡・秋田）

市役所臨時職員として台風10号の支援相談員（岩手）

復興住宅等のコミュニティ形成支援（宮城）

『わくわく』

と

『歯車』

2019年4月

地域おこし協力隊として陸前高田へ移住

面白い田舎にしたい。

陸前高田市から『移住定住総合支援業務』を
受託しているNPO法人高田暮舎で
地域おこし協力隊として空き家バンクの運営を
行っている。



017_ちょっと田舎×便利な暮らし

● 高田町

● 賃貸

募集終了



016_悠然とした家で暮らすなら

● 米崎町

● 売家



015_ゆったりと満喫する田舎暮らし

● 横田町

● 賃貸

募集終了



014_「昔ながら」で暮らす家

● 横田町

● 売家



013_生活を遊ぶ暮らし

● 小友町

● 売家



012_つくってみたい「我が家」

● 広田町

● 賃貸

募集終了

約2年間暮らして感じたことは

『あったらいいな』

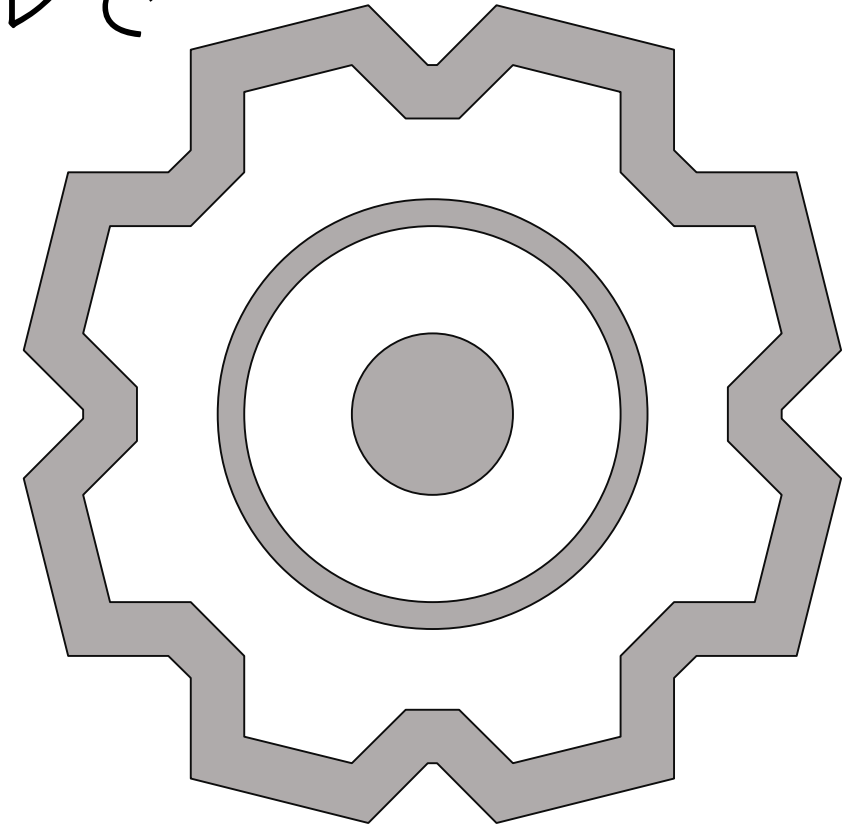
が地域にたくさんあるということ。

「働く人がいたら…」

「働く場所があったら…」

「こんなサービスがあったら…」

自分が培ってきた経験やスキルで
この歯車になることにより
地域が生き活きと回っていく
きっかけになるかもしれない。



- 1年間美容室にも行けなかった…
- 働きたいけどお迎えの時間が…
- たまにはゆっくりカフェしたい…
- 子ども連れでも参加しやすいイベントをしたい…

けど

- 高田にはファミリーサポートセンターがない
- 土日に預かってくれる施設がない

私の特性として

- 6年半の保育士経験
- 子どもが大好き
- 少しのヒアリングで
大体の子どもを預かる
ことができるスキル



—休 3

- 居宅訪問型の保育
- イベントやセミナー等での託児
- LINE公式アカウントでの
子育ての無料相談



- 雇用は難しいけど特定の時期だけ人が欲しい…
- 月に数回でいいからもう1人いてくれたら…
- 今までは自分でできてたけどできなくなってきた…

&

- 移住したはいいけどもうちょい収入が欲しい…
- 子どもがいてフルで働けないけど少しは働きたい…
- 農家などの体験をしてみたい…

百匠人

いずれは「若者版シルバー人材センター」を
できたらと思っている。(これも実はあったらいいな)

- シルバー：安定の作業、ニーズが多く実施までの
時間がかかることが多い
- 若者：仕上がりには難ありな可能性がある、
育てがいがある、元気、シルバーより安価

百匠人

これが形になると

- 長期休暇を利用しての短期移住
- 通年で農漁業等のお手伝いをしながらゆるっと田舎暮らしをすることができる
- 子育て中のリフレッシュとして社会と繋がりつつ収入を得られる
- 地域にある昔からの知恵や技術である『生業』の継承になる



百匠人

ただ「人材紹介業」の許認可申請という
大きなハードルがありなかなか実現できない。
基準資産が500万以上…

ここから話すのは私が約2年間暮らして感じた

『あったらいいのにな』

について、2月に企画していること。

高田にあまりない歯車

- コピーライティング
- マーケティング
- データサイエンティスト

を学びたい

陸前高田の中高生のなりたい職業は
「公務員」か「コンビニの店員」
という話を聞いた。

ふつうってなんだろう。

キャッチコピーを考えるという過程で、

「こういう仕事があるんだ」という気づきや
物事を多面的に考えられる経験をしてほしい。

関東でフリーランスのコピーライターとして働いて
いる宮城出身の方とオンラインでつないで実施。

ふつうってなんだろう。

震災から10年で注目してもらえる時に

奇跡の一本松ではないものを

ドンと胸を張って言葉にできる。

そして普段は勉強・部活で忙しい中高生に


陸前高田を改めて知ってもらおう機会にしたい。

佐世保といえば…佐世保バーガー

陸前高田といえば…奇跡の一本松

もっと他にも魅力があるのにもったいない。

さらに震災から10年のタイミングで奇跡の一本松を
前面に出すことで「被災地はいま」感が出ちゃう。
被災地としてではなく、『面白い田舎』になっていく
陸前高田をこれからも見ていて欲しい。



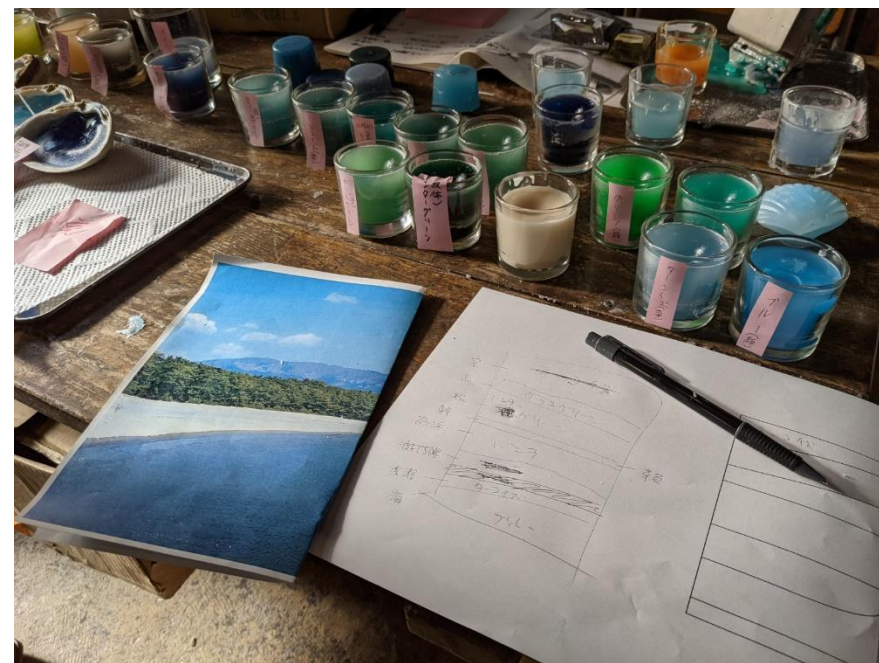
そして高田松原は元は約7万本あったのに、
「奇跡の一本」を前面に出すことで、

これから4万本の松原を再生させようとしている
人たちを目立ちづらくしていないか？

キャンドルの販売

そこで震災前の高田松原の風景を表現したキャンドルを作成し販売する。

そのことで、1本ではない松原の風景を思い描いてもらい、これからも高田松原再生を見ていて欲しい。



キャンドルの販売

さらにクラウドファンディングで販売することで
広く知ってもらい、わくわくしてくれた方と一緒に
陸前高田、三陸、岩手を面白い田舎にしていきたい。

複業で生きてってみる

全国を旅した経験や様々な業界を見てきたからこそ

「あったらいいな」が多い田舎でできること

そして好奇心旺盛な特性を活かして

学び続けて挑戦し続けて歯車になりたい

複業で生きてってみる

ただ理想ばかり言ってるけど全然事業化するイメージが湧かない。

色々と教えてくれる方、一緒に考えてくれる方、面白い田舎っていうワードにわくわくした方、ぜひお話ししてみませんか？

わくわくのままに生きる

今年「ただただあなたの話を聞かせてください」
の時間を創っており、様々な人のストーリーを
聞くことにハマっています。

その時間が私の大きな糧となっています。

2021年で目指せ100ストーリー。

Facebook

